

# 空調監視盤 SLA-200

近年のオフィスビルの多様化，インテリジェント化に伴い，空調機器の高度な集中コントローラが要求されている。さらに省エネルギー，環境問題の考慮により，氷蓄熱方式，ガスヒートポンプ方式と空調機の形態も多様化している。

当社はパッケージエアコン用通信方式“スーパーリンク”を平成2年より業界に先駆け開発し，製品に搭載している。本システムは小規模から大規模ビルに至るまで，省配線化による工事費の低減に大いに貢献しており好評を頂いている。

ここでは，中規模ビルを対象として開発した空調監視盤 SLA-200 について紹介する。

表1 主仕様

項目	内容
操作・表示部	バックライト付中型 LCD タッチパネル (6 インチ, 115×86 mm) 白黒 漢字: 20 字×15 行
プリンタ	感熱式ドット印字, 漢字印字可 (JIS 第1, 第2水準) 半角 34 文字/行, 黒印字, 紙幅 58 mm, オートカッター付
システム入出力	電力デマンド入力 1 点, 火災代表入力 1 点, 一括異常出力 1 点, パルス発信器付積算電力量計入力 4 点
システム管理点数	3 072 点 (16 点/空調機×192 台)
外形寸法	H 600×W 500×D 120 mm
操作・設定, 監視	発停, 運転モード切換, 温度設定, 風速切換, 風向切換, 優先指示 (手元リモコン許可/禁止), フィルタサインリセット, 故障, 異常内容, 室内温度 (吸込)
スケジュール機能	週間, 年間 (特定日設定, 最大 30 日), 当日変更 1 日の発停数: ON×4 回, OFF×4 回
記録	異常発生履歴: 最大 100 件 運転時間, 空調料金: 当月, 前月, 前々月の 3 箇月分
空調料金計算	空調機の機種容量, 運転時間, 膨張弁開度, ヒータ通電時間に基づいて系統ごとに空調機単位で案分計算を行う。

## 1. 概要

SLA-200 はパッケージエアコンを最大 192 台 (48 台×4 系統) まで接続可能であり，空調機をグループ化することで操作/設定を簡素化することができ，空調ゾーン，テナント単位での管理が可能となる。

主仕様を表1に，システム構成を図1に示す。

## 2. 特徴

### (1) 操作画面

LCD タッチパネルを採用し，対話方式での操作，設定が可能であり，画面構成及び操作スイッチの配置はだれでも容易に行えるように配慮した。

### (2) スケジュール機能

スケジュール発停に連動し，優先指示 (手元リモコン許可/禁止)，設定温度，運転モードの設定を可能とした。

### (3) 料金計算機能

パルス発信器付積算電力量計からのパルス受けによる消費電力量の自動検針方式を採用しているため，管理の省人化が図れる。また時間帯ごとの電力単価の設定を可能とすることで，時間外課金等も柔軟に対応できる。

(エア製 技術部 PAC システムグループ 岡田)  
名研 制御システム研究室 横浜)

☎ (052) 412-8294

本社営業窓口 冷熱事業本部空調冷機部販売企画課

☎ (052) 503-1817

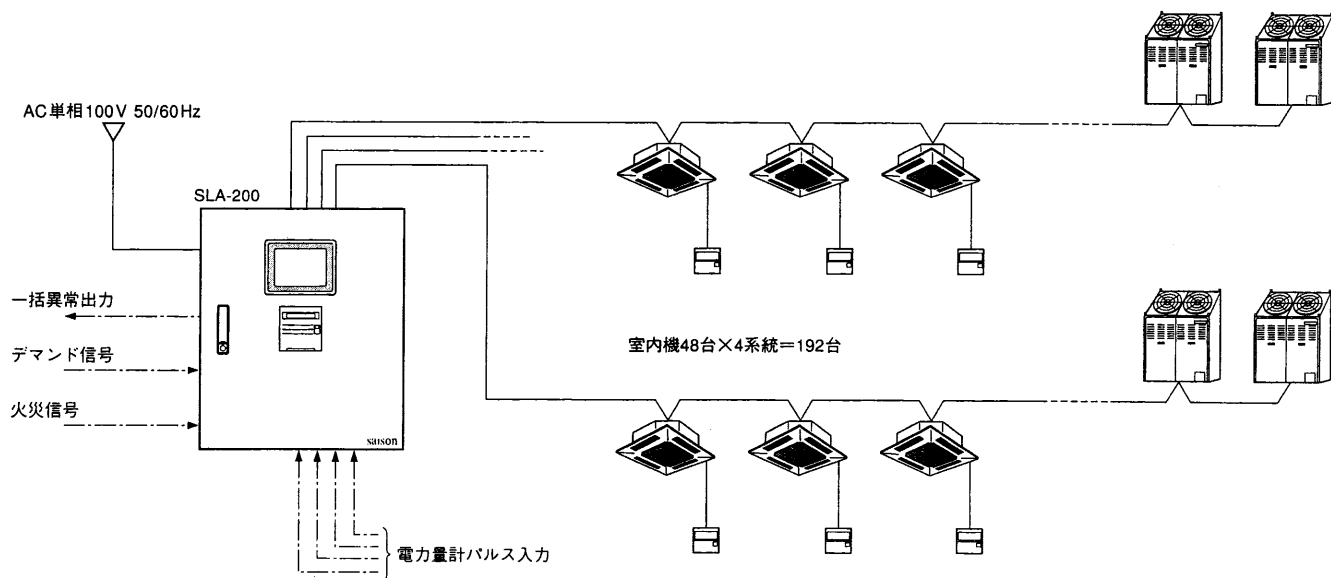


図1 システム構成